

まゆだま

第34号

長野県長野市信州新町上条137番地
☎ 026-262-3111

J A長野厚生連 新町病院

発行責任者

小瀬川 和雄

<http://www.shinmachi-hsp.com/>

J A長野厚生連 新町病院理念

私たちは 人の **いのち** と **心** を大切にする医療を実践します。



おやきの日の献立

当院栄養科では年25回の行事食を計画し、使用した長野県食材を紹介するメッセージカードを添えたり、全国厚生連で行っている全国各地の郷土食を献立に取り入れる取組にも参加するなど、季節感や食事の楽しみを持つていただくことで入院中の患者さんの回復を応援しています。また、毎月1回は西山区の郷土食おやきを主食に提供し入院中の患者さんからはとても好評をいただいています。

《鶏飯の歴史・いわれ》

スープをご飯にかける「お茶漬け」のような料理です。その昔、奄美群島に住む女性らは薩摩藩本土から渡ってくる威圧的な役人の気持ちを少しでも和らげようと祈りつつ、できる限りの贅沢なもてなしをするため、料理したのが始まりとされています。



鹿兒島の郷土食奄美の「けいぼん鶏飯」



JA長野厚生連地域医療アンケートを実施しました

JA長野厚生連では3年に一度「厚生連医療アンケート」を実施しています。厚生連の利用状況、サービスの内容、職員の対応に対する評価、施設の満足度や、地域の皆さまのご意見やご要望、日頃の私たちの活動について率直なご意見をお聞きしたアンケート結果がまとまりましたのでご報告します。

実施地域及び配付・回収数：信州新町を中心に当院の診療圏 配付数 290部 回収数187部

アンケート結果の中から抜粋

外来診療の内容に対する評価	十分	25.6%	おおむね十分	62.8%
入院診療の内容に対する評価	十分	31.3%	おおむね十分	57.1%
	不十分	2.7%	説明なし	1.4%

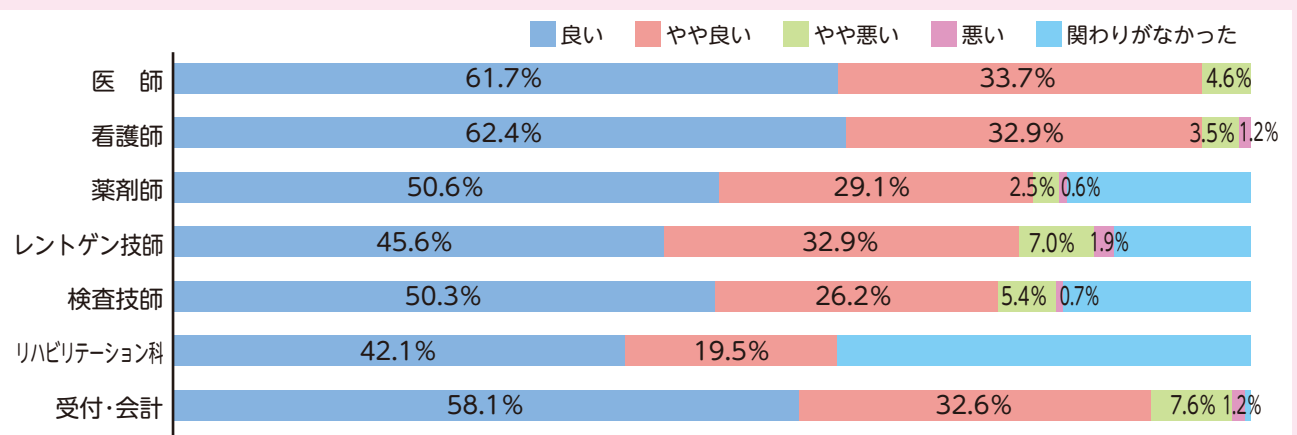
【不十分の理由】「様子をみましょう」との説明がわかりにくい。

入院したが、治療の方針や入院期間の見通し等について家族に説明がなかった。

救急診療の内容説明に対する評価 十分 34.1% おおむね十分 54.1%

総合的な当院の満足度では前回調査を 10.4 ポイント上回る 69.3 ポイントの評価をいただきました。

外来診療における職員の対応



診察までの待ち時間は、前回に比べ我慢のできる範囲内と答えた方が増えた反面、診察を終えてから会計までの時間が長いというご意見を多くいただきました。

その他、外来診察室、駐車場などの施設面、職員の対応など改善点も多く指摘がありました。

また、今後充実・新設して欲しい診療科には整形外科・内科・脳神経外科が挙げられました。

皆さまからいただいたご意見は今後院内で改善等の検討を行ってまいります。

なお、アンケートの詳細につきましては後日ホームページでご報告いたします。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、ご意見、ご要望等ございましたらご遠慮なくお聞かせください。今回いただいた意見を基にこれからも『信頼される病院づくり』に努めてまいります。



インフルエンザワクチンが変わります

薬局長 中沢 俊喜

今シーズンから日本でも4価の「インフルエンザワクチン」が使われることになりました。これまでは3価（A型2株+B型1株）だったワクチンが4価（A型2株+B型2株）になります。主に流行するB型インフルエンザは主に「山形系統」か「ビクトリア系統」と呼ばれる2つのタイプです。これまでは、両方が同時に流行することが少なかったため、シーズン前にどちらが流行するかを予測し、一方だけをワクチンに入れていました。しかし、今シーズンからは両方が入っているワクチンになります。つまり、どちらのB型インフルエンザが流行しても十分に予防効果を発揮することができるようになります。

ワクチンを接種したからといって、必ずしもインフルエンザにかからないというわけではないのですが、ワクチンを接種しておくことで万が一発症したとしても重症化を防ぐことができ、また小さな子供さんの場合、インフルエンザ脳症を防ぐと言われています。こうしたことからインフルエンザの予防接種を受けることをお勧めします。当院のインフルエンザの予防接種は小児科以外予約不要です。内科では12月21日までの毎週月曜日の午後2時～3時まで予防接種専用外来を行っております。流行期に入る前の早めの接種をおすすめします。



新町病院トピックス



心肺蘇生・AED講習会

長野市中条小学校のPTAのみなさんを対象に、AED・心肺蘇生講習会を行いました。

この講習会は同小学校のPTA主催のもので、夏休み前に毎年行われているそうです。

今回の講習は、当院の看護師4名が保護者・教員約40名を対象に、胸骨圧迫、気道確保、AEDの使い方を一つひとつ確認しながら行いました。参加した保護者の方は、「毎年参加しているが今年は気道確保がうまくできました」、「実際にAEDを使う場面はあってはならないが、今回のような講習をしっかり受けておくことでいざという時に実践できる」と話してくださいました。

講師を行った当院宮島看護師は、「実際の場面に居合わせた時は、傍観者にならず今回の講習を思いだし積極的に救命をしてください」と講習をしめくりました。



症例検討会

病診連携の一環として行っている症例検討会を開催しました。

近隣の医院・診療所から紹介があった患者さんの症例報告に続き、長野市消防局新町消防署の小林和弘署長、竹本敏晃救急係長から講演をいただきました。

小林署長からは、「御嶽山噴火災害に伴う対応について」と題し、昨

年の御嶽山噴火、神城断層地震の長野市消防局の行った対応についてお話いただきました。竹本係長からは、「救急救命士の行う救急救命処置」と題し本年6月から改正となった救急救命士の行える救急救命処置の内容を説明いただき、中山間地の場合病院に到着する時間を考慮した救急救命処置を、救急隊が行えるようになったことの報告がありました。

今後も、近隣の診療所・医院との連携を強化して、地域の皆さまのために効率的な医療提供をしていきたいと思っております。



小川村保健補導員会で講演

小川村の保健補導員のみなさんを対象に、当院小瀬川院長が講演を行いました。

胃がんの原因になると言われているピロリ菌について、胃がん健診の傾向や胃バリウム検査に変わりこれから厚生連が進めていく胃がんリスク健診(ABC健診)、胃内視鏡検査について講演しました。昔は飲み水などの環境が悪く、高齢の方の多くはピロリ菌に感染しており、それが原因で70歳以上の方に胃がんが増えていること、逆に40歳～50歳台の方は胃がんに罹る率が減っていることをあげ、早い時期にピロリ菌を除菌することが

胃がんの発生率を下げるために有効であると話されました。参加したおよそ60名のみなさんは、メモを取りながら熱心に聞いていました。



高校生1日看護師体験

夏休みを利用し高校生6名が職場体験を行いました。看護部長から看護師になるための進路について説明を受けた後、血圧の測り方、患者さんの足浴などを体験しました。



「カラオケで楽しいひと時」～デイケアみのり～



長野市信更町高野にお住いの、高野正彦さんが当院デイケアを訪れ、エレキギターの生演奏を披露してくださいました。

この日は利用者のみなさんの年齢層にあわせ、演歌をおよそ10曲披露してください、利用者のみなさんはマイクを回しながら1曲1曲を全員で熱唱しました。

高野さんは、ご自宅で認知症の奥さんの介護をしながら、長野市近郊のデイケアなどをボランティアで月に4～5回訪れては、利用者の方に演奏を披露しているそうです。

演奏の合間には奥さんの介護の体験を話していただき、「介護をしていく中で自分の家族が認知症や障害を



抱えていることを、周りの人に知られるのは、決して恥ずかしい事ではない。むしろ病気を周りに理解していただくことで、みんなが応援してくれます」と一人で介護を頑張らない秘訣を笑顔で語ってくださいました。

高野さんは5～6年前からエレキギターを始められたそうで、現在は30曲以上のレパートリーがあり、訪れる施設の利用者さんの顔ぶれを見ては、その日の演奏曲を決めているそうです。

最後に「北国の春」を歌い終えると、利用者さんからは拍手とアンコールが湧き、生演奏のカラオケで楽しいひと時を過ごすことができました。

中学生 職場体験・ 職場見学が行われました

10月に信州新町中学校の1、2年生8名、小川中学校の2年生1名、中条中学校の2年生1名が当院で職場体験、見学を行いました。



内視鏡室、各病棟の見学、血圧測定や聴診器を使って自分の心臓の音を聞いたりベッドからストレッチャーへの移乗などを体験しました。



血圧をお互いに測定したり、患者さんの足浴、手浴も体験しました。

手術室では手術前の手洗いを体験し手術室の見学も行いました。

薬剤科ではラムネ菓子を使い一回分ずつの薬袋に分包する器械を操作しました。



この他にも検査科、リハビリテーション科、デイケア「みのり」で体験を行いました。



スタッフ紹介コーナー 「栄養科」

日頃は関係スタッフ以外があまり立ち入ることのない栄養科の紹介をします。

栄養科職員は現在14名です。栄養科内は、厨房、下処理室・前処理室、下膳室・洗浄室、検収室、配膳室、事務室、栄養相談室に分かれています。床の色が色分けされており、各部屋の移動時は履き物を替え、手洗いをして衛生管理の徹底をしています。

食事アンケートを年4回実施し栄養科職員全員で患者さんの声に耳

を傾けることを心がけています。また毎月栄養科勉強会や食品衛生勉強会を開いて職員の知識向上に努め、患者さんに元気になっていただくための食事作りをしています。

医師の指示により患者さんの栄養相談も行います。

食事の内容や、カロリーなど相談はさまざまですが、患者さんに寄り添ったアドバイスができるよう奮闘しています。これからも食事や栄養相談を通し患者さんの健康のためスタッフ一同頑張ります。



お知らせ

○10月から国民健康保険の保険証が変わってまいります。もう一度お手元の保険証をご確認ください。

また、一カ月に一度は保険証を窓口にご提示いただきますようお願いいたします。

○インフルエンザ、および感染性胃腸炎などの院内感染防止のため**特定の方以外の面会を禁止**しています。付き添いの方、ご家族の方(15歳以下の方は禁止)は面会の際はマスクの着用とアルコールによる手指消毒の徹底にご協力をお願いいたします。

編集後記

これから寒くなります。感染症にはご注意ください。まゆだま34号をお届けします。みなさんで高覧いただければ幸いです。

印刷

PO印刷株式会社



この印刷物は環境保全のため、ベジタブルオイルインクを使用しています。